

第1章 | 計画の策定にあたって

計画策定の目的

自転車ネットワークの基盤整備や、自転車を活用した観光振興・環境負荷の低減・健康増進・交通安全等を推進し、持続可能な社会を実現するため、「佐野市自転車活用推進計画」を策定します。

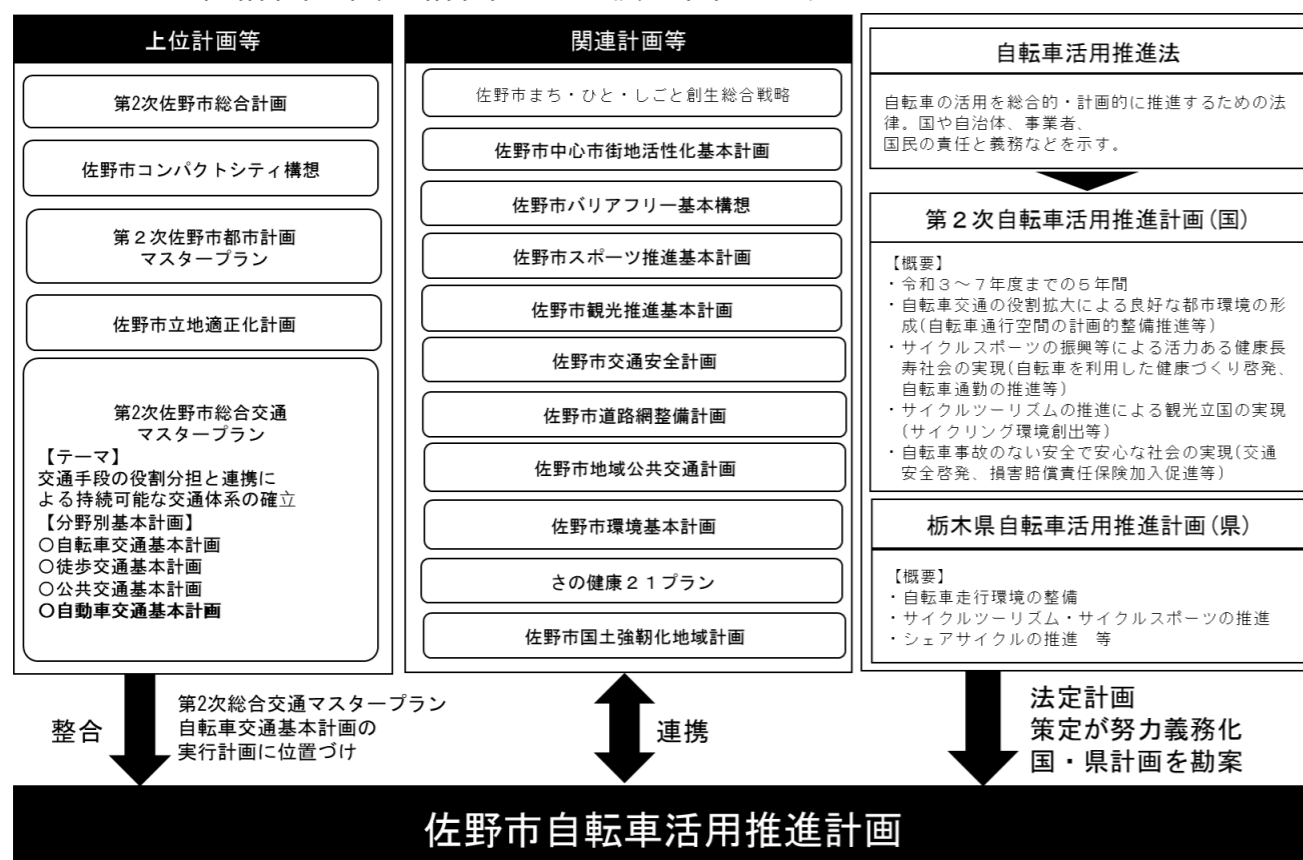
計画の区域・期間

区域：佐野市全域

期間：令和5（2023）年度 から 令和8（2026）年度の4年間

計画の位置づけ

国及び県の自転車活用推進計画の内容と整合を図り、本市の実情を踏まえ作成します。また、上位計画・関連計画との連携を図ります。



第2章 | 本市の概況及び自転車の利用実態と課題

現況と課題

	現況	課題
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> 佐野市道路網整備計画で骨格、整備優先箇所が設定されている 自転車専用通行帯が約7.1km整備済 鉄道駅周辺、バス停留所周辺に駐輪場が整備されている 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用環境の整備 自転車を活用した移動環境の創出
観光振興	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で観光入込客数が減少 首都圏からの来訪者が多い 来訪の際の交通手段は自家用車が大きな割合を占めている 秋山川・仙波川沿いにサイクリングロードが整備されている 県南地域モデルルート(ワタ8)の設定 レンタサイクル事業を市内3箇所で開催している 民間企業・団体による自転車を活用した取組がある 	<ul style="list-style-type: none"> 観光入込客数の回復 観光客向け2次交通の充実 サイクリングロードの活用 モデルルートから本市の集客施設等への誘導 民間企業・団体との連携
交通安全	<ul style="list-style-type: none"> 運転免許返納者の増加 自転車事故による死傷者・負傷者数の高止まり 高齢者・高校生の事故が多い 自転車移動時、大半の人がヘルメットを未着用 自転車損害賠償責任保険等の未加入者が一定数存在 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の移動手段の確保 自転車利用における危険箇所の把握 保険未加入者、ヘルメット未着用者への指導・啓発 自転車利用者への交通安全意識の醸成
健康増進	<ul style="list-style-type: none"> 全国と比較しメタボリックシンドローム者の割合が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 運動する習慣づくり
環境問題	<ul style="list-style-type: none"> 交通行動における代表交通手段は、二輪車(自転車を含む)が11%に対し、自動車は73%と高い割合である 	<ul style="list-style-type: none"> 自家用車から自転車や公共交通等の移動手段への転換促進
その他	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な災害発生時、自家用車や公共交通機関での移動が困難な状況となった 	<ul style="list-style-type: none"> 自家用車や公共交通機関での移動が困難になった際の、移動手段の確保

第3章 | 基本方針と目標

基本方針

自転車交通の安全性・快適性の向上と自転車を活用したまちづくり

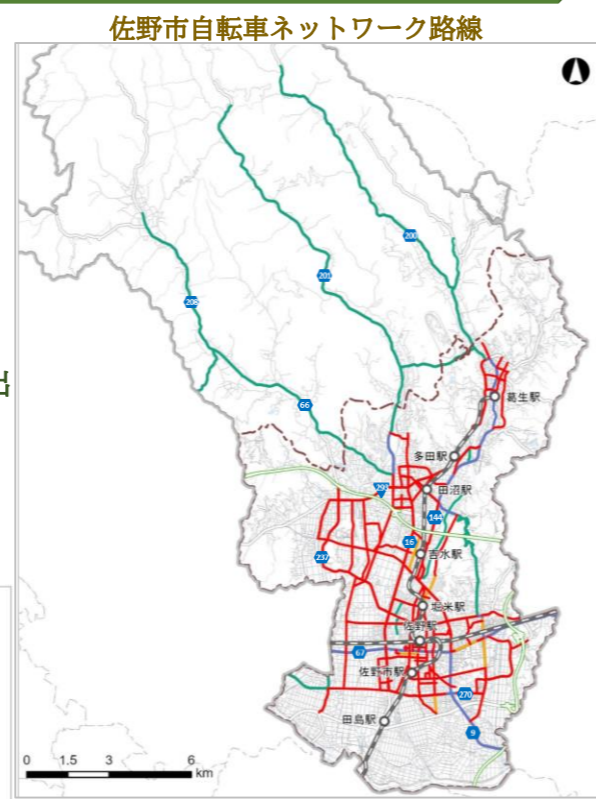
方針1 安全・快適に利用できる自転車ネットワークの整備

計画目標1 移動実態に合わせた自転車通行空間整備

- 自転車事故の状況や利用者アンケートの結果等により、自転車交通における危険箇所や自転車交通量の多い箇所を把握します。
- 自転車通行空間について、ネットワーク化することにより、連続性のある計画的な整備を行います。
- 自転車通行空間の整備形態については、道路構造令等に基づき、実際の道路状況を鑑み決定します。

計画目標2 誰もが自転車で快適に移動できる環境の創出

- サイクル&バスライドを推進し、公共交通と連携した自転車移動環境を創出します。
- タンデム自転車の普及啓発を行います。



佐野市自転車ネットワーク路線

方針2 サイクルツーリズムの推進

計画目標3 県南地域モデルルートを活用した観光振興

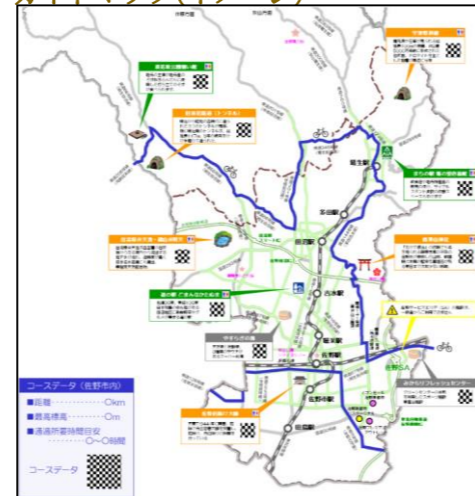
- 県南地域モデルルートを活用し、市内の集客施設等への誘客を目指すとともに、受け入れ体制の充実を図ります。

計画目標4 民間企業・団体と連携したサイクルツーリズムの推進

・2次交通の充実

- 民間交通事業者と連携し、サイクルバス・サイクルトレインを推進します。
- 民間企業と連携し、市内のレンタサイクルサービスの充実を図ります。
- 民間団体と連携し、佐野市のサイクリングルートをPRします。

ガイドマップ(イメージ)



方針3 交通安全対策の実施

計画目標5 道路危険箇所への対策

- 自転車利用者が危険と感じる箇所の、交通安全対策を検討します。
- 小中学校の通学路の安全点検を実施し、危険箇所の把握に努めます。

小学生を対象とした自転車乗り方教室



計画目標6 自転車利用者の交通安全意識の醸成

- 小学生を対象に自転車乗り方教室を実施します。
- 「栃木県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の周知を徹底します。
- 街頭での指導啓発活動を実施します。

方針4 自転車利用による健康増進と環境負荷の低減

計画目標7 自転車を利用した健康増進活動の促進

- 健康アプリと自転車活用の連携を検討します。
- 民間団体が主催するサイクルスポーツイベントと連携します。

未就学児向け自転車教室チラシ



計画目標8 自転車を利用したエコ通勤の促進

- 自転車での通勤や、サイクル&バスライドによる公共交通と連携した通勤などを促進します。

方針5 災害時の自転車の活用

計画目標9 災害時の自転車活用策の検討

- 災害時の有効な移動手段として自転車の活用を検討していきます。

第4章 | 計画の進捗管理

主な評価指標

基本方針	指標	現状 (令和3(2021) 年度末)	目標値 (令和8(2026) 年度末)
安全・快適に利用できる自転車ネットワークの整備	自転車ネットワーク路線における、自転車通行空間の整備延長(市道のみ)	4.3km	6.0km
サイクルツーリズムの推進	市内のレンタサイクルの年間利用回数	約1,000回	1,500回
交通安全対策の実施	自転車利用者の内、損害賠償責任保険等に加入している人の割合	58%	100%
自転車利用による健康増進と環境負荷の低減	日頃の移動手段において自転車を利用している人の割合	—%	15%